



# みなみぼうそう

ひと・ゆめ・みらい 地域で創る魅力の郷 南房総

ホームページアドレス <http://www.city.minamiboso.chiba.jp> (本紙の記事はホームページでもご覧いただけます)

## ことしの予算

平成22年度 南房総市予算説明書



みんなでつくろうよ!

### CONTENTS

はじめに	.....	2
今後のまちづくりの指針	.....	3
ことしの主なしごと	.....	4
資料編	.....	10

## はじめに

日ごろから市政の運営につきましてご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

南房総市は、合併してからこれまでの4年間、行財政改革や市民のみなさんとの協働によるまちづくり、子育て支援、教育施策の充実、産業振興などに取り組み、さまざまな計画立案など南房総市発展のための、いわば「種」をまいてまいりました。

これからの4年間は、育ち始めた芽を大きく成長させ、市民のみなさんの福祉や生活の向上という成果を实らせるため、協働のまちづくり、行財政改革の推進、農商工連携をコンセプトとした観光振興、地産地消の推進、こどもたちの学力向上に向けた対策などを重点施策として引き続き取り組んでまいります。

広報『ことしの予算』は、今年度における市の主な事業とその予算を重点施策の項目と関連づけて整理することで、市が「何を目標にして」、「何をしようとしているか」を市民のみなさんにできるだけわかりやすくお知らせしようとするものです。

『ことしの予算』が市政へのご理解の一助となることを期待するとともに、市民のみなさんの市政へのさらなるご参加を心よりお願い申し上げます。

南房総市長 石井 裕



## 南房総市の予算額は

「一般会計予算」は、**208億6,018万1千円**、  
「特別会計予算」、「公営企業会計予算」をあわせると、  
**345億2,897万3千円**になります。

# 今後4年間のまちづくりの指針と 今年度の主な事業

## 1 協働のまちづくり…

まちづくりの主役は市民のみなさんです  
地域づくり協議会の設立や活動支援など → P.4

## 2 行財政改革の推進…

持続可能な財政運営基盤の構築を目指します  
支所機能の見直しや職員資質の向上など

## 3 社会資本整備…

利便性の高い社会資本整備を計画的に進めます  
光ファイバーケーブルの整備など → P.8

## 4 子育て支援…

育児、保育、医療などあらゆる面から子育てを支援します  
子育て支援センター「ほのぼの」の運営など → P.6

## 5 教育の充実…

家庭・地域・学校の連携のもと、教育施策の充実を図ります  
市内中学校へのALTの派遣など → P.5

## 6 地域交通・外出支援の充実…

より利便性の高い地域交通体系を構築します  
高齢者の外出支援など → P.7

## 7 保健・医療・福祉の充実…

安心な暮らしを支える体制を整えます  
看護師の育成を目的とした基金の設置など → P.8

## 8 環境保全…

南房総市の財産である豊かな環境を守ります  
合併処理浄化槽の設置補助など → P.4

## 9 安心・安全なまちづくり…

犯罪や災害から生命・財産を守るための施策を充実します  
住宅取得奨励金制度など → P.8

## 10 地域経済・産業振興…

農商工連携による産業の振興や地域経済の活性化を図ります  
地産地消の推進など → P.6

# 1 環境・観光都市づくり

「環境にやさしい」をまちづくりの基本とし、豊かな観光資源を生かし、持続可能な経済運営およびライフスタイルを構築します。

この町の主なご事業

この町の主なご事業

## 「環境都市づくり」の推進

### バイオディーゼル燃料製造事業 79万円

給食センターや保育所から回収した植物性廃食用油を再利用して製造したバイオディーゼル燃料を、ごみ収集車などの軽油代替燃料として利用します。



### 合併処理浄化槽設置整備事業 7,597万円

公共用水域の水質汚濁を防止するため、合併処理浄化槽の設置に対して助成します。

### 生ごみ処理容器など購入費補助事業 180万円

家庭から排出される生ごみの減量と堆肥化を図るため、コンポスト容器などを購入した場合、購入額の2分の1以内を補助します。



### 南房総市民環境大学事業 61万円

南房総市と日本大学生産工学部が共同で市民のみなさんを対象に環境学習講座を開催し、家庭、学校、職場などの地域ぐるみで環境に対する意識を高め、市民と協働のもとに環境にやさしいまちづくりを目指します。

問い合わせ 環境保全課 TEL33-1053

## 地域づくり協議会交付金 1,012万円

地域のみなさんと一緒に、今後の地域のありかたを考え実行する仕組みづくりを進めるため、「地域づくり協議会」の設立の支援や、実際に協議会が行う事業や組織の運営経費に対する交付金を交付します。



## 地域づくり協議会支援員 設置事業 4,945万円

「地域づくり協議会」の事務局、地域運営の調整やサポートを行う支援員を各地区に2名ずつ配置します。

## 地域コミュニティ指標化事業 1,110万円

地域の魅力や課題を客観的に把握し、住民活動や行政活動に生かすことで、地域課題の解決や地域資源の活用を促進します。

市民と行政との協働による新しいまちづくり

## 2 市民との協働によるまちづくり

市民、行政、企業がお互いの役割と立場を理解しあい、地域社会に共通する課題の解決や、目標の実現に向け協力し合うまちづくりを推進します。

### 3 教育の充実

学校現場はもとより、家庭教育および生涯学習の充実を図り、子どもから大人まで学びを通じた人づくり、地域づくりを推進し、この地域を担う人材を育成します。

#### 食育の推進および学校教育、家庭環境の充実

##### 外国語指導助手配置事業 3,768万円

市内の全中学校に外国語指導助手（ALT）を配置し、小学校へも派遣します。

##### 小学校英語活動指導者配置事業 315万円

小学校での英語科目必修化に児童がスムーズに対応できるようにするため、各小学校に英語活動指導者を配置します。



##### 食育推進事業 220万円 知育(学力)徳育推進事業 150万円

南房総市教育立市プランに基づき、学校・家庭・地域の連携による「知・徳・体の調和と統一の取れた児童生徒の育成」を目標として、児童・生徒の学力向上と食と農の大切さへの理解を深めるため、食育の推進を図ります。

##### 特別支援教育学習支援講師設置事業 1,995万円 教育相談員派遣事業 384万円

さまざまな障害を持つ児童生徒に対する学習支援を行う支援講師および不登校などの問題解決を図る教育相談員を配置し、児童生徒個々の状況に応じた学習支援を行います。



##### 学校図書サポート員派遣事業 804万円

読書活動推進のため、学校図書サポート員を市内の小中学校に配置し、図書室の管理や読み聞かせを行います。

問い合わせ  
学校教育課 TEL46-2962

##### まちづくりチャレンジ事業補助金 650万円

NPOやボランティア団体など市民活動団体から自由提案事業を募集し、優秀事業を行う団体に対し経費助成するほか、活動間もない市民活動団体育成やNPO法人設立のために実施する事業に対し助成します。

また、市民活動団体の発展およびNPO法人化を支援するため、必要なアドバイザー（中間支援NPO、税理士、社会労務士など）経費について助成します。

##### 地域力を育むモデル事業交付金 200万円

多様な市民ニーズへの対応や地域の課題の解決のため、地域のみなさんと行政が共に考え実行していくモデルとなる事業を支援することで、協働によるまちづくり事業に積極的に取り組みます。

##### 市民活動資金貸付金 2,000万円

市民活動団体が国などから委託・助成を受けた事業に対し、つなぎ資金の貸付けを行います。



問い合わせ 市民協働課 TEL33-1005

## 4 産業の育成

南房総の主要事業である農林水産業と観光業などの異業種を連携させ、地域資源のブランド化を推進し、新たなビジネスモデルを構築します。

### 農林水産業や商工・観光業などの異業種の連携および経営改新の支援

#### 地産地消推進事業 3,581万円

地産地消を推進する新たな流通拠点整備に併せ、農林水産物流通促進マーケティング調査と産品一括受発注システムの整備を行います。



問い合わせ 地域資源再生室 TEL33-1073

#### 起業家育成事業 506万円

食品加工開発による起業に取り組む市民・団体に対し、起業のサポートや食品加工設備の導入に対する助成を行うことで、起業家の育成と地域の活性化を目指します。

問い合わせ 地域資源再生室 TEL33-1073

#### あわび稚貝放流事業補助金 1,190万円

あわびの生産力向上を図るため、稚貝放流事業を支援します。

問い合わせ 農林水産課 TEL33-1071

#### 中小企業など経営改善資金利子補給事業 2,000万円

一定の条件を満たした中小企業などの経営改善資金について、最大2.5%分まで利子補給を行います。

問い合わせ 商工観光課 TEL33-1092

#### 資源循環推進事業 3,558万円

畜産農家が生産する堆肥を市内の農家に流通させるため、堆肥有効活用システムの利用促進、堆肥の運搬・散布などを手伝う組織の運営支援、堆肥購入の補助などを行います。また、森林資源の活用による新たな魅力創出を図るため、間伐の推進と商品化に向けた支援を行います。

問い合わせ

地域資源再生室  
TEL33-1073



#### プレミアム付き商品券発行事業

1,300万円

市内消費循環による地域経済の活性化を図るため、プレミアム付き商品券（10,000円で1,000円分のプレミアム）の発行を行います。

問い合わせ

商工観光課 TEL33-1092

11の主な事業



#### 子育て支援センター運営事業 1,044万円

子育て支援の拠点である子育て支援センター「ほのぼの」において、子育て家庭の交流の場の提供、子育ての不安緩和や子どもの健やかな育ちの促進を図ります。

#### 休日保育事業 118万円

白浜東部保育園において、市内の保育所に入所している児童を対象に休日および祝日の保育を実施します。

#### 学童保育所運営事業 3,180万円

仕事の関係で放課後、保護者などが保育することが困難な幼児、児童を対象にして、学童保育所を開設します。

#### ぜんそくなど小児指定疾患医療費助成事業 153万円

ぜんそくなど子どもの慢性疾患のうち、治療が長期にわたりその医療費が高額になる疾患について、国が医療費の公費負担を行っています。市では、この制度の対象外となる人のうち、18歳未満で市の登録基準を満たす人に医療費を助成します。

子育て家庭の支援

## 5 子育て支援の充実

ひとりをもつて子育てできるよう、あらゆる面から子育て家庭を支援します。

## 6 福祉の充実

### 高齢者福祉の充実

#### シルバー人材センター運営費補助金 670万円

一般社団法人南房総市シルバー人材センターの活動に対し助成することで、高齢者の安全で適正な就業を推進します。

#### 緊急通報システム事業 819万円

ひとり暮らしの高齢者などの日常生活の不安を解消するために、緊急通報システム装置を貸与します。

#### 外出支援サービス事業 475万円

高齢者にタクシーまたはバスの利用助成券を交付することで、外出に対しての助成を行います。



問い合わせ

高齢者福祉課 TEL36-1154

### 障害者福祉の充実

#### 自立支援医療（更生医療）事業 2,593万円

主に心臓手術など身体障害者の障害の程度を軽減し、または除去するための医療を行います。

#### 特別障害者手当等給付事業 2,345万円

重度の障害のために、日常生活において常に介護を要する在宅障害者（児）に手当を支給します。

#### 障害者自立支援事業（介護給付費など）3億8,363万円

障害者自立支援法に基づき、施設に入所している身体障害者などに対して、訓練などの支援を提供します。また、居宅において、食事・入浴・排せつなどの介護を提供します。

#### 重度心身障害者（児）医療費など助成事業 8,329万円

重度心身障害者またはその保護者に対して、医療費の一部（自己負担額）を支給し、その負担を軽減します。

#### 障害者地域生活支援事業 3,348万円

障害者（児）が自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう支援します。障害者やその保護者からの相談に応じたり、必要な情報提供などを行う事業、手話通訳者の派遣を行う事業、日常生活用具の給付や貸与、障害者の移動を支援する事業などを行います。

問い合わせ 社会福祉課 TEL36-1151

### 社会福祉の充実

#### 社会福祉協議会運営費補助事業 1億424万円

「ふれあいと支えあいのある心豊かな福祉社会」の実現を目指す、南房総市社会福祉協議会の運営、活動に対して補助金を交付します。

問い合わせ 社会福祉課 TEL36-1151

### 生活保護

#### 扶助費 4億2,770万円

生活保護法に基づき、生活扶助・住宅扶助・教育扶助・医療扶助・介護扶助などを行い、最低限度の生活を保障します。

問い合わせ 社会福祉課 TEL36-1151

#### ブックスタート事業 49万円

絵本を開くひと時の大切さを伝えるとともに子どもの健やかな成長を願って、ボランティアが絵本の読み聞かせを行い、絵本を贈ります。



#### 病児・病後児保育事業 271万円

小学校低学年までの児童がいる家庭を対象として、児童が病気の回復期などで集団保育ができない場合に、医師・看護師・保育士が専用スペースで一時的に児童を預かります。鋸南町の勝山クリニックと館山市の亀田ファミリークリニック館山で行います。

#### 民間保育所整備事業補助金 750万円

千葉県の安心こども基金事業費補助事業により、民間保育所（白鳩保育園園舎）の耐震改修に対し助成を行います。



問い合わせ

子育て支援課  
TEL36-1153

## 7 安心安全なまちづくり

### 防災行政無線デジタル化事業 872万円

防災行政無線システムのデジタル化改修に向けた基本設計を行います。

問い合わせ 消防防災課 TEL33-1052

### 災害対策備蓄物資購入事業 236万円

災害時に備え、保存食や防災用備品を購入します。

問い合わせ 消防防災課 TEL33-1052

### 住宅取得奨励事業 3,000万円

定住促進と地域経済の活性化を図るため、市内に新築住宅を取得した人に、最大で60万円の奨励金を交付します。

問い合わせ 管理課 TEL33-1102

## 8 保健・医療の充実

### 看護師等修学資金貸付基金の設置 5,000万円

看護師の育成と、地元の医療機関、介護施設などへの就業促進を図る奨学金制度を創設するため、看護師等修学資金貸付基金を設置します。

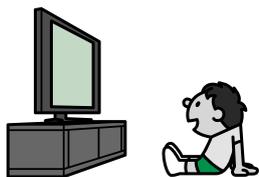
問い合わせ 健康増進課 TEL36-1152



## 9 社会資本整備

### 地域情報通信基盤維持管理事業 5,914万円

光ファイバーケーブルなど情報通信施設の整備を行うとともに、光ファイバーインターネット接続サービスへの加入促進を図るため、加入費の助成を行います。



問い合わせ 情報推進課 TEL33-1003

### 辺地共聴施設整備事業 2,869万円

地上デジタル放送に関する共聴施設の改修費用について、共聴組合に対して助成を行います。

# 主な特別会計、公営企業会計

## 特別会計

### 国民健康保険特別会計 61億4,349万7千円

みんなでお金を出し合い、個々の医療費の自己負担額を軽減しようとする助け合いの制度である国民健康保険事業を運営します。

平成22年度 国民健康保険加入者数（見込）17,134人

#### ○高額介護合算療養費の支給 450万円

国民健康保険と介護保険の両制度を利用する世帯の自己負担額が高額になった場合の負担軽減のため、合算した自己負担額が限度額（年額）を超えた場合、超えた額を「高額介護合算療養費」として支給します。

#### ○特定健康診査事業 3,854万円

40歳から74歳までの国民健康保険加入者を対象に特定健康診査を実施し、メタボリックシンドロームのハイリスク者には、特定保健指導を実施し、市民のみなさんの健康増進・保持に努めます。

#### ○疾病予防事業 1,215万円

35歳以上の国民健康保険加入者を対象に短期人間ドック費用の助成を行います。

短期人間ドック：2日以内で行う総合的な精密検査  
および脳精密検査

助成額：検査費用の7割（上限5万円）

### 介護保険特別会計 40億9,885万7千円

本格的な高齢化社会を迎えている中、介護を社会全体で支えあう制度の介護保険事業を運営します。

介護サービス事業（要介護認定者）や介護予防サービス事業（要支援認定者）にかかる経費の9割を市が負担します。

#### ○居宅介護サービス給付事業（訪問介護、通所介護、リハビリ、短期入所、入浴介護など）14億3,219万円

#### ○地域密着型介護サービス給付事業（認知症対応型通所介護、共同生活介護など）3億3,497万円

#### ○施設介護サービス給付事業 16億1,801万円

特別養護老人ホーム（介護老人福祉施設）、老人保健施設（介護老人保健施設）、療養病床（介護療養型医療施設）などによるサービス

#### ○包括的支援事業 3,919万円

地域包括支援センターを2箇所設置し、総合相談支援、権利の擁護、介護予防マネージメントなど包括的継続的な支援を行います。

身近な地域での相談窓口として在宅介護支援センターを6箇所設け、高齢者福祉サービスの充実を図ります。

### 後期高齢者医療特別会計

後期高齢者医療制度に基づき、保険料徴収業務および窓口業務などを行います。

保険料の賦課、保健給付の決定などは千葉県後期高齢者医療広域連合が行います。

## 老人保健特別会計

老人保健事業は、後期高齢者医療制度に移行しましたが、平成20年4月1日以前の案件に対応するための経過的な予算です。

## 公営企業会計

水道事業と病院事業は、一般会計とは異なり、公営企業として、民間企業に準じて事業の継続性を重視した企業会計制度を採用しています。

公営企業は、予算と決算を「収益的収支（みなさんから頂いた料金や医療費で、事業の費用を賄うもの）」と「資本的収支（設備など数年に渡って使用されるものの購入、建設のための費用を、負担金や借入金で賄うもの）」の2つに分けて事業を行っています。

### 水道事業会計

市民のみなさんに安全でおいしい水を安定して供給するための費用です。

南房総市の上水道は、旧富浦町および旧三芳村については、増間ダムなどを水源とする三芳水道企業団により給水され、その他の地域は、大谷川ダム（富山）、白浜ダム（白浜）、小向ダム（和田）を水源とした市直営の水道事業により給水されています。これらの水源の不足分を南房総広域水道企業団から受水しています。水道事業会計は、南房総市直営の水道事業に対する予算です。

#### 収益的収支

収入 15億1,453万6千円

支出 14億4,288万6千円

#### 資本的収支

収入 1億8,037万5千円

支出 8億3,437万5千円

#### 石綿管更新事業 1億6,952万3千円

老朽化した石綿管（2,700m）を更新し、安全性の向上および安定給水を図ります。

#### 連絡管布設事業 8,400万円

破断漏水事故など緊急時に備え、千倉・白浜地域を結ぶ連絡管の整備を行います。

### 国保病院事業会計

市民のみなさんが安心して日常生活を営める医療体制構築のため、国保病院のサービスの向上を図り、身近な地域で迅速に適切に診断処置できる初期医療の充実や予防からリハビリテーションまでの包括的な医療の提供を行います。医師などの人材確保と設備の充実も合わせて行います。

#### 収益的収支

収入 5億6,989万5千円

支出 5億6,989万5千円

#### 資本的収支

収入 3,322万8千円

支出 4,784万4千円

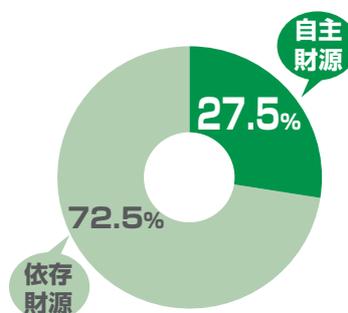
# 収入(一般会計予算)

南房総市の収入には、市の税金と国や県からの収入があります。  
また、銀行などからの借り入れや、施設の使用料などがあります。

		金額(単位:千円)	対前年度比(%)
市 税	みなさんが、南房総市に納める税金です。	3,969,108	△1.1
分担金および負担金	事業を行ううえで、その事業に係る経費の一部を受益の程度に応じて負担していただきます。	161,415	13.9
使用料および手数料	市の施設を利用する際に支払うお金です。	327,305	△1.0
市 債	銀行などから借金をします。	3,221,300	△45.2
繰入金	主に、基金を取り崩し繰入します。	712,363	38.6
地方譲与税 地方消費税交付金など 地方交付税	みなさんが国に納める税金の一部です。 使いみちは自由です。	260,000 492,300 8,750,000	9.2 △13.8 0.0
国・県支出金	みなさんが国や県に納める税金の一部です。 使いみちは特定されています。	2,399,580	18.9
その他		566,810	3.9
計		20,860,181	△9.3

## 南房総市 の一般会計予算の

約**28%**が市税などの自主財源の収入です。  
国からの交付税などの依存財源は約**72%**です。



### 〔自主財源〕

市が自主的に収入しうることのできる財源です。  
市税、分担金および負担金、使用料および手数料、繰入金、財産収入などが該当します。

### 〔依存財源〕

国や県の意思により定められた額を交付されたり、割り当てられたりする収入のことです。地方交付税や地方譲与税、国県支出金、市債などが該当します。

# 支出(一般会計予算)

支出(歳出)を性質別に見てみます。性質ごとにまとめることで、支出の特徴を捉えることができます。

金額(単位:千円) 対前年度比(%)

## ◎義務的経費

人件費	4,713,930	△ 1.4
扶助費	1,884,029	34.9
公債費	3,233,750	12.0
小計	9,831,709	8.4

### 義務的経費

人件費、扶助費、公債費を「義務的経費」といいます。これらの費用は、毎年必ず支出しなければなりません。

- ・人件費…職員の給料などにかかる費用です。
- ・扶助費…生活保護費をはじめとして生活に困っている人や児童、高齢者、障害者などを援助するための費用です。
- ・公債費…過去に借り入れた借金の返済にかかる費用です。

## ◎消費的経費

物件費	3,069,216	6.0
維持補修費	145,592	13.2
補助費等	2,885,218	0.5
小計	6,100,026	3.5

### 消費的経費

後年度に形を残さない性質の費用です。

- ・物件費…光熱水費、消耗品費、通信運搬費などです。
- ・維持補修費…施設の維持管理のための費用です。
- ・補助費等…一部事務組合などに対する負担金などです。

## ◎投資的経費

普通建設事業費	2,792,897	31.3
補助	1,668,192	18.4
単独	1,124,705	56.3
災害復旧事業費	10,120	139.7
小計	2,803,017	31.5

### 投資的経費

幼稚園、小学校・中学校の建て替えや大規模な改築、道路の整備・建設など都市基盤の整備・農業農村基盤整備にかかる費用です。

## ◎その他の経費

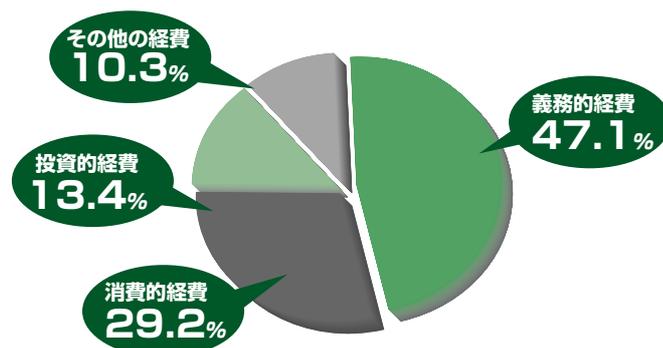
積立金	341,189	△ 91.8
投資および出資金	143,527	40.8
貸付金	20,000	△ 33.3
繰出金	1,600,713	0.0
予備費	20,000	0.0
小計	2,125,429	△ 64.0

### その他の経費

その他の経費は、上記以外の経費です。

- ・積立金は、各種基金への積立です。
- ・繰出金は、特別会計予算への繰出です。
- ・予備費は、緊急に支出を必要とした場合のために予定しています。

計 20,860,181 △ 9.3



# 市の借金(市債)の状況

## 市債(しさい)

市債とは、市が公共事業などを行うとき、必要な資金を集めるためにする借金のことをいいます。

自治体の予算では、その年度に使うお金は、その年度に得る収入(市税や地方交付税など)で賄うことを基本としています。しかし、それだけでは多額の費用がかかる大型の公共事業などは行うことが難しくなりますので、自治体でも必要な資金を借り入れることができる制度が設けられています。

例えば、道路や学校などの施設は、現在の住民ばかりでなく世代を超えて利用されることから、世代間の負担を公平にするという意味で、市債の発行による資金確保を行うことが認められています。

### (普通会計)

一般会計 284億5,002万円

公共用地取得事業特別会計 2,552万円

### (企業会計)

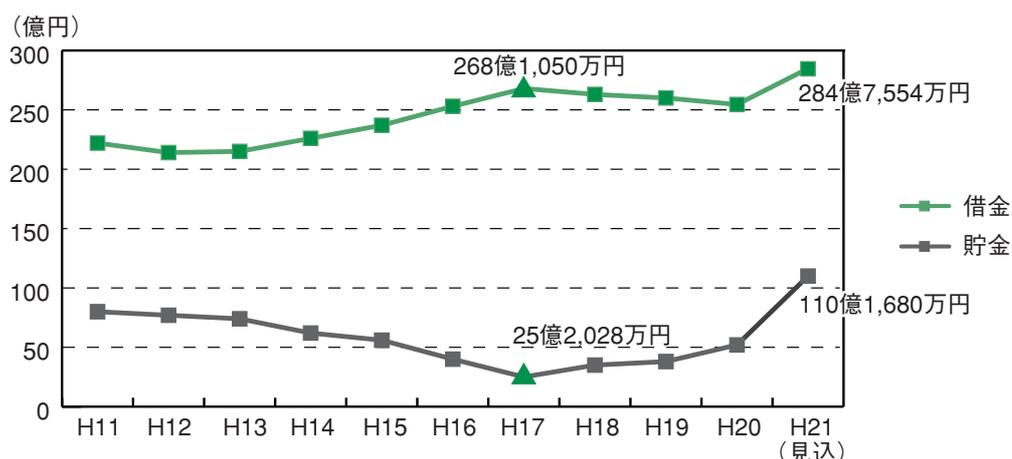
水道事業会計 29億5,184万円

国保病院事業会計 3億1,192万円

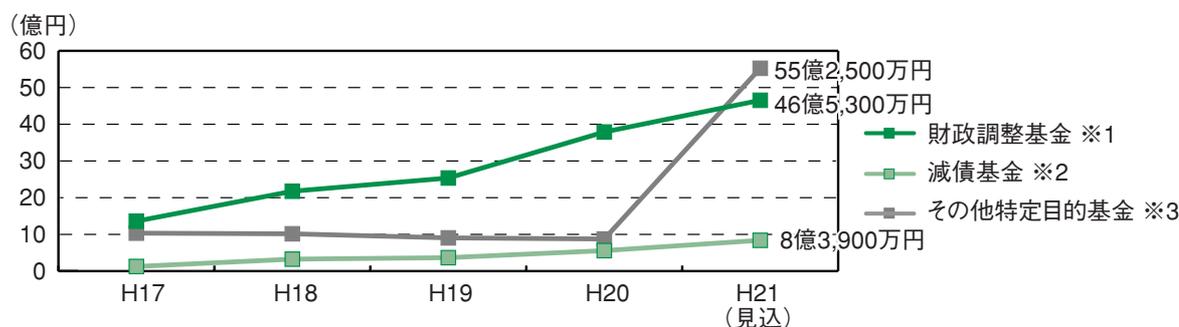
平成21年度末(見込み)

## 市の借金(市債)と貯金(基金)の推移 (普通会計)

南房総市の貯金と借金の推移は次のようになっています。



## 主要な貯金(基金)の推移 (普通会計)



- ※1 財政調整基金・・・予期しない収入減少や不時の支出増加などに備え、長期的視野に立った計画的な財政運営を行うために、財源に余裕のある年度に積み立てるお金。
- ※2 減債基金・・・公債費の償還を計画的に行うための資金を積み立てる目的で設けられるお金。
- ※3 その他特定目的基金・・・特定の目的のために積み立てるお金。

# 借金(市債)残高のうち市が負担する額

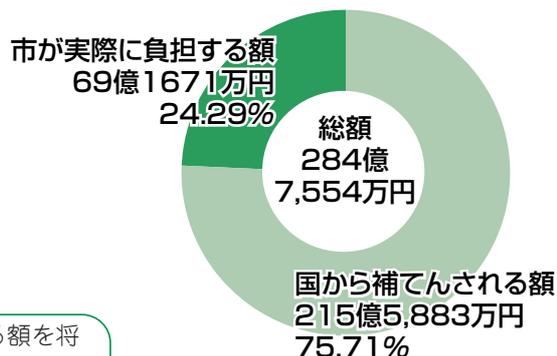
# 69億1,671万円

(普通会計)

借金(市債)の中には、本来、国が補助金や交付金などの形で地方自治体に交付しなければならないものを国に代わって地方自治体が借り入れし、その返済額を国が補てんしているものも含まれます。

また、公共施設などの整備が遅れている過疎地域などでは、整備が進みやすい返済額の一部を国が補てんする借金もあります。このように国が補てんする返済額は、毎年、地方交付税として各地方自治体に交付されています。

※借金の返済に対して国から補てんされる額を将来にわたって正確に算出することはできませんが、およその目安として計算しています。



## ☆地方交付税により補てんされる市債として 主なものをいくつか挙げてみます。

### 合併特例事業債

平成の大合併により合併した団体が、新市建設計画に基づく事業の資金として発行できる市債

〔補てん割合〕 70%

平成22年度

- 富浦中体育館 1億9,110万円
- 白浜中グラウンドなど 4億4,820万円
- 給食センター(内房) 7億9,560万円
- 新火葬場 2億1,620万円 など

施設名	市債残高	国交付額	市負担額
健田小	7億9,190万円	5億5,433万円	2億3,757万円
南幼稚園	1億2,370万円	8,659万円	3,711万円
和田中体育館	2億560万円	1億4,392万円	6,168万円
白浜中	5億4,960万円	3億8,472万円	1億6,488万円
健田幼稚園	1億9,650万円	1億3,755万円	5,895万円
新火葬場	4,810万円	3,367万円	1,443万円
元気まちづくり基金	37億7,150万円	26億4,005万円	11億3,145万円
その他	3,290万円	2,303万円	987万円
合計	57億1,980万円	40億386万円	17億1,594万円

### 辺地対策事業債

辺地に係る公共的施設の総合整備のための財政上の特別措置等に関する法律に基づき、総合的整備計画事業の資金として発行できる市債

〔補てん割合〕 80%

施設名	市債残高	国交付額	市負担額
農林道、市道			
消防防災施設(消防車、防火水槽、消火栓など)			
など			
合計	7億1,973万円	5億7,578万円	1億4,395万円

### 過疎対策事業債

過疎地域自立促進法により過疎地域として認定された団体が、過疎地域自立促進計画に基づく事業の資金として発行できる市債

〔補てん割合〕 70%

施設名	市債残高	国交付額	市負担額
農林道、市道			
消防防災施設(消防車、防火水槽、消火栓など)			
千倉総合運動公園野球場			
和田スクールバス(学校統合)			
など			
合計	40億9,712万円	28億6,798万円	12億2,914万円

### 臨時財政対策債

地方一般財源の不足に対処するための特例市債。地方交付税交付額の不足分を国に替わって発行する市債で、返済額は全額補てんされます。

〔補てん割合〕 100%

	市債残高	国交付額	市負担額
	79億6,024万円	79億6,024万円	0万円

平成22年度 15億円

※市債残高は平成21年度末の見込み額を基にしています。

# 健全性は

【本資料は千葉県より公表されたH20決算数値に基づき南房総市が作成したものです。(掲載団体は近隣市および類似団体)】

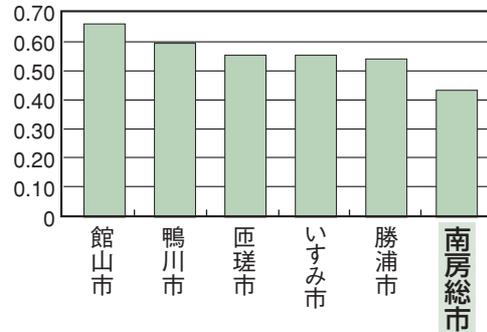
さまざまな指標をもとに判断すると、南房総市の財政状況は「緊急手術の必要はないものの、長寿命化を図るため、肉体改造と徹底した健康管理が必要な状態」です。

## ○財政体力を示す「財政力指数」 (数字が大きい方が、より健全)

南房総市は、0.43

(県内市町村平均 0.80)

市の人口や面積などに応じ標準的にかかるお金に対して、自主的な収入(市の税金や各種使用料など)がどの程度あるかを示す指標です。数値が「1」であれば、100%自主的な収入で市の運営ができることになります。南房総市は、「0.43」ですのでまちの運営を自主的な収入で賄える分は43%ほどしかないことがわかります。



## ○財政自由度のバロメータ「経常収支比率」 (数字が小さいほど、より健全)

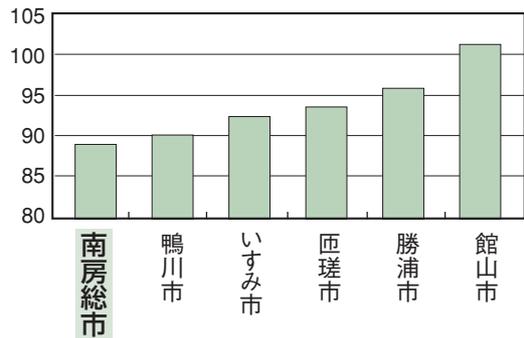
南房総市は、88.8%

(県内市町村平均 91.4%)

市の税金や地方交付税など毎年決まって入ってくるお金(経常的な収入)に対して、人件費や施設の維持費など毎年決まって出て行くお金(経常的な経費)がどの程度の割合になるかを示す指標です。

数値が「100%」の場合、決まって入ってくるお金のすべてが決まった支出として出て行くため、その年に自由に使えるお金はゼロということになります。

南房総市は、「88.8%」ですので、自由に使えるお金は11%程度となり、あまり余裕がない状況です。



## ○体力以上の借金負担がないかをチェックする「実質公債費比率」 (数字が小さい方が、より健全)

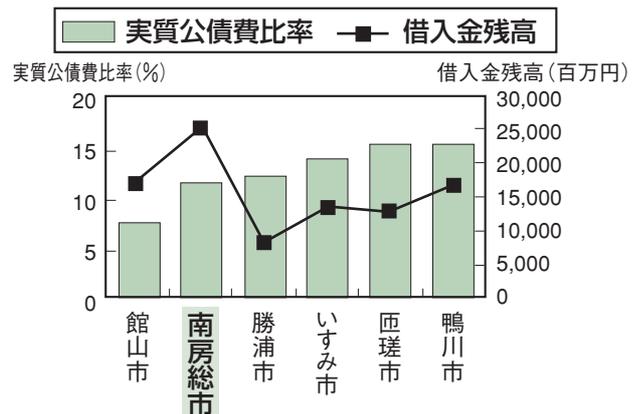
南房総市は、11.5%

(県内市町村平均 11.9%)

市の税金や地方交付税など毎年決まって入ってくるお金(経常的な収入)に対して、借入金(市債)の返済にあてた経費(公債費)がどの程度の割合になるかを示す指標です。

一般会計、特別会計などすべての会計にわたり計算され、借金返済の負担が多すぎないかチェックすることができます。チェックの目安として国が定めた基準により「18%」以上になると、新たな借り入れ(地方債の発行)に際し段階的に制約を受けることになります。

南房総市は「11.5%」です。近隣および県内類似団体に比べ借入金残高は多額ですが、返済額に対し地方交付税などの支援があるため、返済の負担は低く抑えられています。



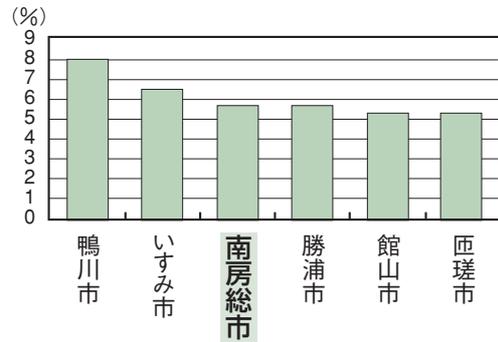
# 市の財政の

## ○収支決算をチェックする「実質収支比率（赤字の場合は実質赤字比率）」 （数字が大きい方が、より健全）

南房総市は、5.7%  
（県内市町村平均 5.4%）

市の人口や面積などに応じ標準的にかかるお金に対して、その年の一般会計決算により生じた実質収支額（収入から支出を差し引いた額）がどの程度の割合になるかを示す指標です。

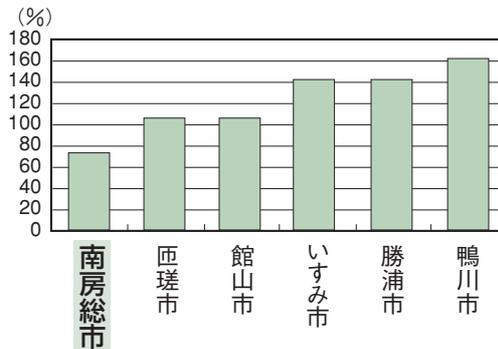
収支決算が黒字であればプラス、赤字であればマイナスとなり、その年の決算が健全であったかどうかをチェックすることができます。



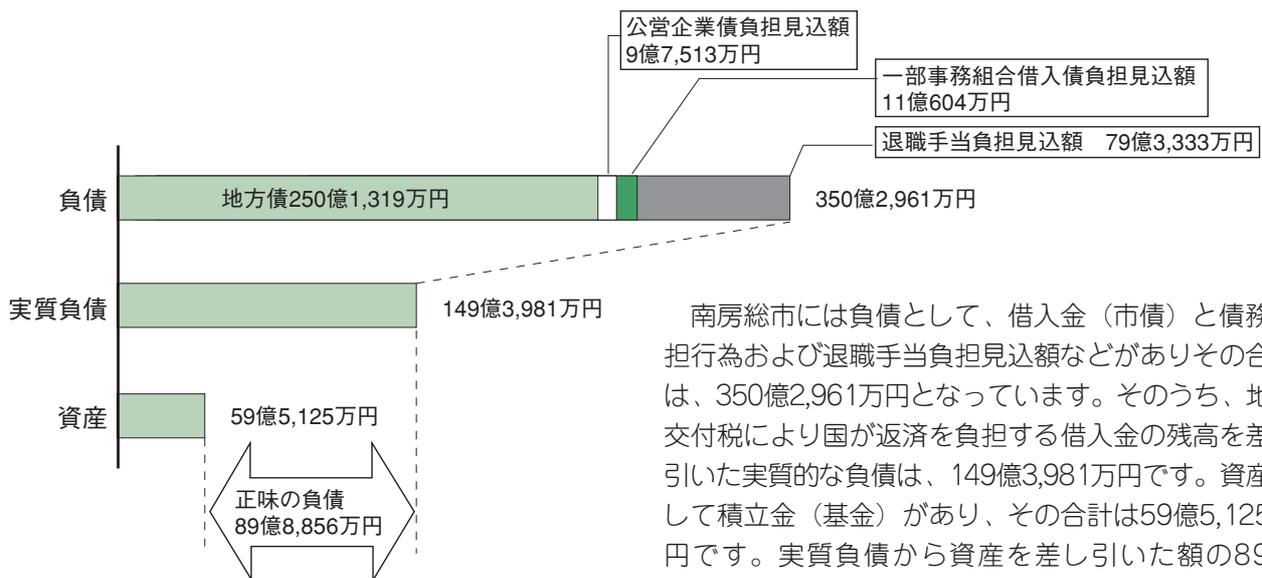
## ○将来負担すべき実質的な負債をチェックする「将来負担比率」 （数字が小さい方が、より健全）

南房総市は、72.3%  
（県内市町村平均 94%）

市の人口や面積などに応じ標準的にかかるお金に対して、借入金（市債）や債務負担（複数年にわたり支払いの予定があるもので、借入金に準ずるもの）などのすべての負担額から積立金（基金）などを引いた金額がどの程度の割合になるかを示す指標です。



## 市の資産や負債の状況は



南房総市には負債として、借入金（市債）と債務負担行為および退職手当負担見込額などがありその合計は、350億2,961万円となっています。そのうち、地方交付税により国が返済を負担する借入金の残高を差し引いた実質的な負債は、149億3,981万円です。資産として積立金（基金）があり、その合計は59億5,125万円です。実質負債から資産を差し引いた額の89億8,856万円が正味の負債といえます。

# 合併後さまざまな事業が進んでいます。 その一部をご紹介します。

## 協働によるまちづくり

元気なまちづくり基金の創設など市民活動支援のほか、協働によるまちづくりという新たなまちづくりに取り組みました。



まちづくりチャレンジ事業  
安房拓心高校園芸部 花いっぱい運動の様子

## 子育て支援の充実

子育て拠点施設の開設や小児指定疾患医療費助成などの子育て支援の充実など、みなさんが住みやすいまちづくりに取り組みました。



子育て支援センター「ほのほの」

## 教育の充実

小中学校施設の耐震化など安全安心な環境づくりに取り組むとともに、学力の向上、食育の推進など教育の充実を図りました。



白浜中学校

## 産業の振興

農林水産業の振興対策や観光施設整備のほか、地産地消や資源循環の推進など地域産業の活性化に取り組みました。



地産地消キックオフイベント  
農家による野菜販売の様子

この「ことしの予算」の内容に関するご意見・お問い合わせは、  
南房総市役所 総務部 財政課 (TEL 33-1022) へお気軽にご連絡ください。  
※「ことしの予算」の発行は、例年5月に行っていましたが、今年度は市長選の影響で本予算の成立が6月になったため、例年より発行が遅れることとなりました。